

日本舞踊その新世界

清姫

コンプレックス デシンジャル

荻江「鐘の岬」

舞踊 西川祐子

唄 荻江寿々

三味線 荻江寿鳳

創作舞踊「清姫」 小林古径の連作に捧ぐ

日本舞踊 西川祐子

舞踏 松岡大

ヴァイオリン 黒田絵奈

■構成・演出 玉塚充

■振付 西川祐子 松岡大 玉塚充

アフタートークセッション

出演者とご住職による対話を通し
鑑賞の手引きとなるお話

3月29日(水) 證大寺・井上城治氏

3月30日(木) 長泉寺・井上哲哉氏

悲しき恋の伝説と

鐘の響きに誘われて

これぞ祈りの舞なるか こよなく愛すその人へ



2023年3月29日(水)

会場: 證大寺

東京都江戸川区春江町4-23-1
TEL. 03-3653-4499

(都営新宿線「一之江」環七口(A0、A1)より徒歩10分)

昼の部:14:30 開演 夜の部:18:30 開演

※開場は各回開演の30分前

*料金、お申し込み方法他、詳細は裏面をご覧ください。

■アーカイブ配信 2023年4月28日(金)より開始

2023年3月30日(木)

会場: 長泉寺

東京都台東区東上野6-18-4
TEL. 03-3841-3765

(銀座線「稲荷町」出口3より徒歩7分)

昼の部:14:30 開演 夜の部:18:30 開演

※開場は各回開演の30分前



松岡 大
山海塾 舞踏手



黒田絵奈
ヴァイオリニスト



荻江寿凰
荻江節 三味線方



荻江寿々
荻江節 唄方



西川祐子
日本舞踊家

日本舞踊その新世界 清姫コンプライドエンシヤル

安珍という美しい僧に恋をした清姫は、彼を慕うあまり、大蛇となって後を追ひ、道成寺の鐘の中へ逃げこんだ安珍を、自らが吐いた火で焼き尽くしてしまいます。

この「安珍・清姫」伝説は、日本の芸能に影響を与え、数々の名作を「道成寺」作品に昇華してきました。

お寺という特別な空間で行うこの公演では、洗練された日舞の名作、そして野心的な創作舞踊を通し、人を惹きつけてやまない、清姫の秘密にせまります。

荻江「鐘の岬」

舞踊 西川祐子
唄 荻江寿々
三味線 荻江寿凰

創作舞踊「清姫」小林古径の連作に捧ぐ

日本舞踊 西川祐子
舞踏 松岡大
ヴァイオリン 黒田絵奈

■構成・演出 玉塚 充
■振付 西川祐子 松岡大 玉塚 充

アフタートークセッション

出演者として住職による対話を通し鑑賞の手引きとなるお話

3月29日(水) 證大寺・井上城治氏
3月30日(木) 長泉寺・井上哲哉氏

荻江「鐘の岬」

歌舞伎座公演としては、六世中村歌右衛門が二世藤間勘祖の振付で、昭和45年に初演。数ある道成寺作品の中でも、きわめて洗練され、馥郁とした美の世界を持つ格調高い演目です。昨年国立劇場で、十世宗家西川扇蔵師の振付による同作品を、西川祐子は自身のリサイタルで上演し、好評を博したところ、今回は素踊りて、荻江本来の座敷芸ならではの、繊細な舞い姿をお楽しみ頂きます。

創作舞踊「清姫」～小林古径の連作に捧ぐ～

日本舞踊と舞踏のコラボレーションによる、新たな道成寺作品の誕生。音楽はヴァイオリンが奏でるバッハ無伴奏曲の音色と共に、ジャンルの垣根を越えて、「道成寺」をテーマに演者たちが手を結ぶ意欲作です。企画にあたり、日本画家・小林古径の絵巻「清姫」にインスピレーションを頂き、お寺ならではの「祈りの空間」をいかした創作に挑みます。

2023年3月29日(水)

会場：證大寺

東京都江戸川区春江町4-23-1
TEL. 03-3653-4499

昼の部：14:30 開演

夜の部：18:30 開演

※開場は各回開演の30分前



都営新宿線「一之江」環七口(A0, A1)より徒歩10分

2023年3月30日(木)

会場：長泉寺

東京都台東区東上野6-18-4
TEL. 03-3841-3765

昼の部：14:30 開演

夜の部：18:30 開演

※開場は各回開演の30分前



銀座線「稲荷町」出口3より徒歩7分

■ 入場料 (全席自由席・税込)

前売券：2,500円 当日券：3,000円

■ チケット予約 (各公演の前日18時まで)

・WEBサイトからのご予約は、右のQRコードから

・電話予約 タマプロ：TEL.090-7810-0737



■ アーカイブ配信 視聴料：2,500円 (税込)

申込期間：2023年4月27日(木)～5月6日(土)

配信期間：2023年4月28日(金)～5月7日(日)

・お申込みは、右のQRコードから

*QRコードがうまく読みこめない方は、

info@musical-musicai.jp (MUSICAI)

にお問い合わせください。

